

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」

たまちゃん通信

令和元年 11 月発行 117-4

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

子どもから大人へ～自立と共育～

中原和彦代表理事のNPOが主催

『子どもから大人へ～自立と共育について～』を考える会が、令和元年9月29日（日）、熊本市で行われた。この特別企画は、中原和彦ヘルスアートクリニックくまもと院長（日本のお手玉の会顧問）が代表理事を務めるNPO法人「子どもの脳・心・生命（いのち）を守る会」が主催し、熊本おじゃめの会の共催、日本のお手玉の会も熊本県、熊本市などとともに後援しました。



最初に、主催者である中原和彦先生が、「いま子どもたちを取り巻く環境は、いじめ、引きこもり、うつ状態、自殺問題、不登校など、たいへん厳しいものになっている。このままでは子どもたちの脳が危ない。そこで、『子どもたちの脳を守る活動』を、みなさんと一緒に考えたい」と、特別企画を開催する趣旨を述べられました。（写真上）

第1部では、「ヘルスアートとは」の演題で新町メンタルクリニックの中原敏博院長（中原和彦先生のご子息）が講演をしました。

つづいて、熊本おじゃめの会の有志による「ヘルスアートお手玉」の披露、ヨーヨーお手



玉ダンスチームによる「USA&くまもんサプライズ」がありました。そのあと、歌手のそがみまこさんによる「みんなで歌おう」のプログラムでは、会場のみなさんも一緒になって童謡を歌いました。（写真右：USA&くまもんサプライズ）

第2部は、シンポジウム『子どもから大人へ』～自立と共育について～のテーマで、パネルディスカッションが行われました。パネリストとして中原和彦先生、池田洋子幼児教育アドバイザー、古関順子学校教育コンシェルジェ、緒方玲子元熊本市PTA協議会会長が参加し、コーディネーターは曾我邦彦熊本県PTA教育振興財団理事長を務められました。

それぞれの専門の立場から、子どもの脳・心・生命を守るための考え方、対応についての意見が述べられました。参加した人たちは、「非常によかった」「子どもたちの問題はみんなで考えなければいけない」「幼児教育が大切だと感じた」などと話し、それぞれの立場で、どう考え、何をしなければいけないのかを考える機会となりました。